

第13回日米治水及び水資源管理会議（2018.5）【結果概要】

国土交通省と米国陸軍工兵隊は、2018年5月22日、「第13回日米治水及び水資源管理会議」をアメリカで開催し、治水投資や水資源開発、ハリケーンからの復旧状況について議論しました。

- 1. 背景・目的
 - ✓ 日米科学技術協定に基づく「治水及び水資源管理に関する日本国国土交通省とアメリカ合衆国陸軍工兵隊との間の実施取極」（2003年3月調印）に基づき、日米両国において主要な河川の管理を実施しているアメリカ合衆国陸軍工兵隊と国土交通省との技術協力を推進するために、2004年から開催。
 - ✓ 第13回となる本年の会議は、最近の施策、治水投資、水資源開発、ハリケーンからの復旧状況等について議論。
- 2. 日程・場所 2018/5/22(金) 米国陸軍工兵隊会議室（ワシントンD.C.）
- 3. 参加者
 - 【日本】国土交通省 坂本 大臣官房審議官(水資源担当)
水管理・国土保全局(松木国際室長、森本河川計画調整室長、他)、他
 - 【米国】陸軍工兵隊 ダルトン工兵隊本部公共事業局長、バン工兵隊太平洋管区事業局長、他



会議参加者のフォトセッション



会議の様子



実施
結果

✓ 議論を踏まえ、気候変動などのトピックについて、継続的に実務者レベルでフォローアップミーティングを行うことが提案された。